

# 市や地域を愛する子ども議員が問う



第4回大野市子ども議会（8月20日開催）

## おおの 議会だより

No.203 平成30年10月25日

▼  
主な内容  
▲  
▲  
▲

9月定例会の概要	2ページ
一般質問の概要	3～7ページ
議案等の各議員表決	8ページ
常任委員会審査Q & A	9・10ページ
特別委員会報告	10・11ページ
議員研修会報告	11ページ
第4回子ども議会の報告	12ページ

大野市議会では、ホームページでも議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報を掲載しています。  
ぜひ閲覧してください。



発行：大野市議会  
〒912-8666 福井県大野市天神町1-1  
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021  
<http://www.city.ono.fukui.jp/>  
編集：議会だより編集委員会

# 9月定例会の概要

第409回定例会市議会は、9月3日から20日までの18日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、平成30年度の一般会計補正予算案、条例の改正・廃止、市道路線の認定、人事案件など、全16議案のほか、陳情2件、継続分の陳情1件について審議しました。審議結果は、8割のとおりです。

なお、29年度の一般会計・特別会計と水道事業会計の決算議案については、10、11月に審査することになりました。

## 一般会計予算 2億388万円を 追加

平成30年度一般会計当初予算に2億388万円が追加され、予算の累計額が183億9890万円になりました。前年度同期と比較すると4・0割の増です。主な補正の内容は、下表のとおりです。

### 特別会計補正予算

国民健康保険事業特別会計では、平成29年度の精算に伴う国庫負担金等償還金の増額、和泉診療所事業特別会計では、管理運営経費の減額等、介護保険事業特別会計では、29年度事業費の精算に伴う支払基金交付金償還金が増額され、その他の特別会計では、事業の確定に伴う剰余金積立などが主な内容です。

補正のあった主な内容	補正額
★ 地域おこし協力隊の新規採用に係る経費（市内事業所おもてなし向上支援業務：1人）	191万円
★ 戸籍総合システム及び住民基本台帳システムの改修を行う経費	331万円
★ 福祉施設の増改築整備に対して補助する経費	2664万円
★ 市内事業所における育児休業取得予定の増により事業費を増額するための経費	173万円
★ 九頭竜森林組合の高性能林業機械導入に対して補助する経費	384万円
★ 福井工業大学と連携し、星空観光コンテンツの開発等を行う経費	136万円
★ 大野市消防団第2分団が第26回全国消防操法大会に福井県代表として出場するための経費	293万円
★ 7月豪雨により被災した林道の測量業務、機械借り上げによる土砂撤去等を行う経費	430万円
★ 今年2月の低温により凍上破壊のあった市道の舗装復旧、雪崩発生により流出した橋りょうの復旧に係る経費	1億2150万円

### その他の主な議案

#### 大野市教育振興基金設置条例の一部を改正

教育振興を図る教育環境充実基金を設置するため、基金の種類及び金額に教育環境充実基金（山内建設基金）100万円が追加されました。

#### 大野市和泉総合福祉センター設置条例の廃止

大野市和泉総合福祉センターを廃止するため、設置条例が廃止されました。

#### 大野市営住宅条例の一部を改正

中津川新団地、中津川西団地及び中津川東団地の用途を廃止するため、市営住宅の名称及び位置から当該3団地を削除するとともに、市営住宅の除却に伴う家賃の特例が規定されました。

#### 市道路線の認定

日常生活に重要な役割を担う1路線を市道に、また中部縦貫自動車道整備及び県道改良に伴う市道3路線の起終点の変更

### 人事案件

を認定しました。

#### ▼固定資産評価審査委員会委員の選任

引き続き上野法子氏（下麻生嶋）を選任することに同意しました。

#### ▼人権擁護委員候補者の推薦

新たに松田充功氏（新河原）を推薦することに同意しました。

## 市議会を傍聴しましょう

本会議は、誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会事務局（3階）で受け付けを済ませてから、傍聴席（R階）にお入りください。

次回、12月定例会の予定は次のとおりです。

日程（案）	区分	審議等の内容
11月26日 月	本会議	決算特別委員長報告、質疑、討論、採決、議案上程、提案理由説明
12月3日 月	本会議	一般質問
4日 火	本会議	一般質問、請願・陳情上程
5日 水	委員会	10:00 産経建設常任委員会
6日 木	委員会	10:00 民生環境常任委員会
7日 金	委員会	10:00 総務文教常任委員会
10日 月	委員会	10:00 中部縦貫自動車道等幹線道路整備促進特別委員会 13:00 人口減少・若者定住対策特別委員会
12日 水	本会議	各委員長報告、質疑、討論、採決

※予定のため変更になる場合があります。  
 ※本会議の開会は、いずれも午前10時を予定していますが、開会前の会議により遅れる場合もあります。  
 詳しくは、議会事務局へ問い合わせください。  
 (☎0779-64-4830)

# 小中学校の徴収金は、保護者の負担にせず、公費で賄うべき

## 保護者の負担をなるべく少なくするよう検討している

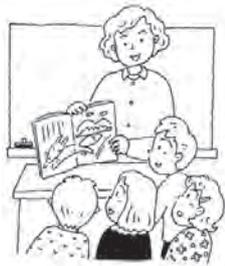


日本共産党大野市議団

野村 勝人 議員

**問** 義務教育は児童・生徒の能力に応じて等しく教育を受ける権利がある。行政側は普通教育を受けさせる義務を負う。つまり、保護者のお金の有る無しによって、修学旅行に参加できなかったり、卒業アルバムを購入ができなかったりということが起こらないようにするために、全ての児童・生徒に対して、学校に関わる費用は無償にするべきである。特に学校で行われているテストは、保護者の希望ではなく学校の都合で行っていることなので、公費で賄うべきではないか。しかも学校徴収金は、同じ学年でありながら、学校によっては集金額が、少ない学校の3倍の金額を徴収している。この実態をチェックして、上限を規制することが必要ではないか。

**答** 学校では必要なもの



であると判断して購入計画を立てている。特に最近では、保護者の負担をなるべく少なくすること、必要であるということのバランスを基本に、検討している。

徴収金については、学校によってばらつきがあるということについては、非常に懸念している。各学校の状況を一覧表等にして、校長会において、自分の学校は多い方なのか少ない方なのか、全体でどのような傾向にあるのかということ、それぞれが把握することによって、自分の学校でさらに検討が必要かどうか考える機会を持つていきたい。

# 赤根川、清滝川の改修について

## 県への要望と地元へ出向き、早期事業化を目指す



清風会

永田 正幸 議員

**問** 平成31年度の福井県への要望活動として赤根川改修事業の早期着手が出されているが、清滝川の改修と合わせて流域市民の安全と被害防止のため、実現していただきたい。

**答** 市民の安全・安心の確保には、両河川の早期整備が大変重要である。赤根川改修については、県が昭和50年に事業を開始し、平成10年までに清滝川合流点から約2キロメートルの改修を終えた。それより上流については、地元調整が難航しており、今後地元へ出向き、早期事業化を目指していく。清滝川については、県に対し、河川整備計画に位置付け、河川改修を行うよう要望している。

**問** 観光プロデュースコンテストの活用について、大学、専門学校、高校の6チームで最終審査が行われ、旧小学校をホテルとして活用するなどの斬新な発表があったが、公共施設の利活用をどのように考えるのか。

**答** 用途を廃止した学校の校舎を地域の文化・芸術活動の拠点として、またカフェや飲食店として活用している例もある。用途廃止の校舎だけに限らず、公共施設を利用したビジネスについては、事業者の意見を聞いた上で、行政としてできることを協力していきたい。

**問** 広島県福山市のため池決壊を受け、6種類のハザードマップが作製されたが、周知方法は。

**答** 被害の範囲や避難経路等を示したため池ハザードマップが被害の低減に有効である。市内に21カ所あるため池のうち、ため池の被災によって家屋被害等が想定される10カ所についてマップを制作し、11地区の区長に内容を説明した。

# 大野市立地適正化計画の位置付けは



無党派

まつた  
松田

もとえ  
元栄 議員

## 多極ネットワーク型コンパクトシティを推進する 大野市都市マスタープランに準ずる

**問** 大野市立地適正化計画の位置付けは。

**答** 多極ネットワーク型コンパクトシティの形成に向けた取り組みを推進するとしている大野市都市マスタープランに準拠しつつ、市全体の居住機能や都市機能、公共交通の充実、公共施設の再編、医療や福祉の充実、中心市街地の活性化、空き家対策の推進など、連携する包括的なマスタープランとして策定した。今後

の急速な人口減少と超高齢化社会で、農村集落や市街地など地域の暮らしが安全・安心、健康、快適に暮らし続けられる持続可能でコンパクトなまちづくりを推進する。  
**問** 1・Uターンの住まい支援事業の補助金で、居住誘導区域と地域生活拠点に差があるのは。  
**答** 持続可能なまちづくりには、市街地への居住が重要で、高齢者が公共

交通で守られ、歩いて住める居住空間を保つ必要があることから、市街地への居住を緩やかに誘導するため。

**問** 当市の財政状況と将来の課題は。

**答** 自主財源比率が低く、国・県補助金の割合が高いため、事業の選択と構築により限られた財源を有効かつ効率的に活用し、適正な基金積立をし、安定的な財政の運営を図る。

経常収支比率は過去10年間90%以上で、特に平成26年度以降は95%以上の水準が続き、経常的経費では、物件費、補助費、扶助費、繰出金などが増加。物件費は、インフラを含む公共施設等の維持管理経費が多く、民間委託料が増加している。補助費等については、補助事業の内容を精査する必要がある。現在各部署で見直し作業を進めている。

一般質問

# 市長として職員に求めるものは



天空おおの

うめばやし  
梅林

あつこ  
厚子 議員

## 市民の立場に立った公務員としての業務に 精励することを徹底する

**問** 市長として職員に求める資質の向上とは。

**答** 市民の立場に立って的確に市民ニーズを把握、行動できる公務員としての業務に精励することを中心とする。

**問** 経常収支比率98・8%という財政の硬直化に対し、予算編成改革は必須であるが、平成31年度予算編成の方針は。

**答** 経済情勢の推移や国県の動向を踏まえ、全ての部局に対して補助金、交付金をはじめとする各種事業や業務内容などの見直しを指示した。また、消費税率引き上げの機会に使用料の見直し等も行い、自主財源を確保する。

**問** 8月1日「水の日」に掲載された日本経済新聞の意見広告（600万円）は、来年も続けるのか。

**答** 電通とも話しをし、予算編成の中で検討する。

**問** 日本経済新聞を読む

でいる市民は少ない。費用対効果を考え、市民に身近な事業に税金を使っていたらいい。

**答** 市民の大切な税金なので、本当に市民のためになるのかを考えたい。

**問** 地下水は市の発展に欠かせない資源。テトラクロロエチレン土壌汚染の早期除去方法は。

**答** 平成元年に市内で発生した汚染は、水道水質基準値を上回るテトラクロロエチレンが検出されているが、少しずつ改善されており、現在の対策を続けていく。  
**問** 水のまちというならば抜気法等、新しい除去方法で速やかに除去する予算付けも必要なのではないか。  
**答** 早期対策にどれだけ費用が掛かるのかも含めて、予算化するかについては、検討する必要があると思う。

# 活性化の一等地を公の施設が占めるのはどうか



## 公共と民間の施設を絡めて活性化する方向性を出していきたい

**問** 市の商業的、ビジネス的な一等地を公の施設が占めていくのは、あま



越前おおの結ステーション

**問** 大野簡易裁判所の移転後の跡地へ、柳廼社内にある大野市民俗資料館を移転する計画を策定中だが、越前大野城、結ステーション、時の鐘、野外的ステージ等がある一等地を、行政の建物が埋め尽くすことになる。稼働力から考えると疑問を感じる。商工観光振興の視点から議論された上で進めているのか。  
**答** 市内の回遊性の向上につながり、新たな観光の施設にもなり得る。

**問** 市議

**答** 結ステーションだけで完結せず中心市街地へ誘導するソフト事業が大切になるので、中心市街地のソフト事業の充実は大切なポイントだと思っている。今年の春先にオープンした二番通りの民間施設、五番通りの公共と民間の施設など絡めて活性化していけるような方向性を出していきたい。

りいい方向に進んでいるとは思えない。回遊性の工夫、市の一等地で稼働力についてどう考えているのか。  
**答** 商工観光振興課長が策定委員会に委員として参画しているので、市内の回遊性、観光としての提案ができるかを併せて検討したいと考える。  
**問** 回遊性のソフト面の戦略は、建物の計画ができる前からあるのが当然ではないか。この点の今後のスケジュールは。  
**答** 結ステーションだけで完結せず中心市街地へ誘導するソフト事業が大切になるので、中心市街地のソフト事業の充実は大

天空おおの

兼井

大議員

# 行財政改革の具体的な施策は



## 経営資源、自主財源の確保と、行政責任領域の見直しを視野に入れた業務の遂行

**問** 市長の政治姿勢について、行財政改革の具体的な施策は何か。

**答** 事務事業の見直しや公共施設再編計画の着実な実行により経営資源を確保し、自主財源を確保すること。また職員は行政責任領域の見直しを視野に入れ、業務に当たることが必要である。

**問** 各部の部長が思う行財政改革とは何か。  
**答** 企画総務部では各種団体の補助金等を見直し、公共施設の再編を推進する。政策局では市民団体の国際交流について、今後も維持する。また姉妹都市等との市民団体の交流について、今後も活用方法等を随時見直しながら進める。民生環境部では子育て支援、少子化対策部分で事業効果が見えない補助金の見直し。産経建設部では各種助成事業の費用対効果を精査、検証し、支援を見極めたい。

**問** 市美術展の出品者数が毎年減っていると同時に、洋画・日本画部門で地元作家が市長・議長・教育長賞を受賞していないことをどう思うか。  
**答** 第40回に向けて実行委員会と相談しながら有効な手立てを探りたい。

**問** COCONOアートプレイスの入場者が2万人を超えたがどう思うか。  
**答** 決して満足することなく進めていきたい。  
**問** 市民秘蔵の作品が展示されていないのは。  
**答** まだまだ改善すべき点があると思う。  
**問** 文化協会の加入団体数減少や、会員の高齢化など、後継者の育成は。  
**答** アピールして引き込んでいきたい。

**問** 国体を契機に市のスポーツ意欲をどのように上げていくのか。  
**答** 文化、スポーツ両面とも振興を図っていくことを約束したい。

天空おおの

高岡

和行議員

一般質問

# 北陸新幹線の開業による観光客の誘導、地元産業の発展への考えは



誠和会・公明党

宮澤 みやざわ

秀樹 ひでき 議員

## 行動計画の大野市高速交通アクションプログラムを本年度中に作成する

**問** 北陸新幹線の敦賀までの開業に合わせ、市として、観光客の誘導、地元産業の発展をどのように考えているのか。

**答** 北陸新幹線と中部縦貫道全線開通で、農業、商工業の商圏が拡大し、人や物の流れが変化してビジネスチャンスが拡大する。また、人の流れを加速させるために二次交通の確保が重要で、越美北線と京福バスの維持に取り組んでいる。観光客の受け皿づくりとして体験メニューの開発を進め、産業においては産業団地を整備しており、本年度中に市、関係機関等が取り組むべき行動計画をまとめた大野市高速交通アクションプログラムを作成する。

**問** 北陸新幹線敦賀開業に伴い、JR西日本から経営分離される並行在来線を引き継ぐ第三セクター会社への出資はどうか。

**答** これまで本市に説明はなく、平行在来線対策協議会のメンバーでもないため、現段階では考えは言えないが、今後、示される予定の内容を十分に精査し、妥当性などを見定める。

**問** 新設される道の駅が、市民の方に大いに利用されるための対策は。

**答** 基本的には自家用車利用だが、公共交通網の計画を進めており、市営バス等の新たな停留所も含め、対策を講じていく。

**問** 障害者雇用促進法に基づき、市や市内企業の雇用状況はどうか。

**答** 市は平成30年度の法定雇用率を達成しているが、国から報告内容を再点検するよう指示があり、精査している。企業においては、ハローワーク大野によると、奥越の障害者雇用率は県内では高い方である。

一般質問

# ダムを建設する目的は



新生おおの

松原 まつばら

啓治 けいじ 議員

## 洪水調節と発電が目的である

**問** 本市に大水害が少ないのは、九頭竜川、真名川の両河川に大きなダムが一つずつあるからだと考えられるが、市内にあるダムは、どのような目的で建設され、また現在、管理責任者はどこなのか。

**答** 河川法によって、基礎から堤の上部までの高さが15m以上のものがダムと定義される。昭和43年に完成した九頭竜ダムは、洪水調節と長野発電所での発電を目的とした多目的であり、国土交通省と電源開発株式会社が共同管理している。

52年に完成した真名川ダムは、洪水調節と真名川発電所での発電を目的として建設された多目的ダムであり、国土交通省が管理している。

**問** ダムの管理について、市と管理者はどのような関係にあるのか。

**答** 九頭竜川水系ダム連絡会には、ダム関係者、奥越土木、警察、同水系に關係する大野市など自治体や事業者の33機関が毎年、情報交換をする場があり、その中でダムの管理運営などについて、いろいろな情報交換をする場がある。また、耐用年数が過ぎてくるダムについても、連絡会の場で情報交換できるので、普段からダム管理者と親密な信頼関係を持った上で、ダムの管理についての打ち合わせなどを、今後も行っていきたい。



九頭竜ダム

〔提供 九頭竜川ダム統合管理事務所〕

## 近隣市町との広域的な観光連携は

### 広域でのサイクリングコースの設定や酒蔵巡り企画等の観光メニュー開発を行う



無党派

堀田

昭一

議員

**問** 第五次後期基本計画では、平成31年に外国人宿泊者数を3000人との目標だが、29年で248人とのこと。評価と検証、今後の対応は。

**答** 現状として非常に厳しい状況であると認識。今後は市単独ではなく、近隣市町と協力して周辺からの集客を本市へつなげ、増やすことを検討していく。

**問** 近隣市町との広域的な観光連携は。

**答** 大野、勝山、永平寺周遊滞在型観光推進事業では、広域でのサイクリングコースの設定や酒蔵巡り企画など、日本の自然や食文化に興味のある外国人にも対応できる観光メニューの開発を行っている。

**問** 大野市道の駅「産直の会」の会員募集状況は。また、魅力のある道の駅となる取り組みは。

**答** 9月7日現在で、37

の個人、団体から加入申し込みがあり、今後も希望する集落などで、会員募集説明会を随時開催していく。

新たな魅力は、ハード的にはまだ見えてないが、重要なのはソフト面のおもてなしだと思う。開駅に時間があるので、市民の皆さんや、また関係団体と協議して進めていく。

**問** 日本遺産認定を契機とした新たな観光ターゲットの具体的な対応は。

**答** 日本の歴史や文化に興味を持ち、FITと呼ばれる国内各地を移動する外国人個人旅行者や国内の歴史愛好家などの誘客に取り込む。

本認定制度は約4年が経過し、旅行会社でも、新たな観光素材として活用されつつあり、認定後は、旅行会社への働き掛けを強め、観光客の増加を図っていく。

## 農業問題についての市の取り組みは

### コメの生産調整や有害鳥獣対策に取り組んでいる



日本共産党大野市議団

榮

正夫

議員

**問** 現在の農業問題は、このままでは地域が維持できなくなるといった農山村に広がる深刻な不安である。戦後の農業を支えてきた世代の引退が本格化する中で、後継者不足とも相まって、農業の担い手の減少や高齢化に拍車がかかっている。離農者の農地を引き受ける大規模経営や集落営農は増えてきているが、中心的な働き手が高齢化し、世代継承が切実な課題となっている経営者も少なくない中、農地の耕作放棄、荒れた森林や鳥獣害被害に悩まされる地域が増える実情にあり、この事態を作り出した大本が農業、農村の政策の貧困にあることは明らかである。

農業農村が再生され、持続可能な集落形成には、第1に、農業を基幹産業と位置付け、農業の担い手を経営規模などで選別するのではなく、続けた

い人、やりたい人は皆、担い手と位置付け、その条件を支援する。第2に、農産物の価格保障や所得補償を抜本的に充実する。第3に、輸入自由化路線を根本から転換し、食糧主権を保障する貿易ルールを確立する。第4に、農業の振興とともに、農村社会の維持に特別の力を注ぐといった四つの政策転換が必要だが、どう思うか。

**答** コメの生産調整について、本年産米から国による生産数量の配分が廃止され、併せてコメの直接支払交付金も廃止されたが、福井県農業再生協議会において生産数量の配分目安が示され、本市では、大野市農業再生協議会と共にコメの生産調整に取り組みたい。また、有害鳥獣対策では、捕獲した有害鳥獣の焼却や埋設処分に加え、処理装置による処分を導入した。

# 平成30年9月第409回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	堀田	野村	廣田	山崎	松田	永田	梅林	川端	宮澤	藤堂	松原	高岡	島口	兼井	畑中	砂子	榮
				昭一	勝人	憲徳	利昭	元栄	正幸	厚子	義秀	秀樹	勝義	啓治	和行	敏榮	大	章男	三郎	正夫
市長提案	66	平成30年度大野市一般会計補正予算（第3号）案	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	67	平成30年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	68	平成30年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	69	平成30年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	70	平成30年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	71	平成30年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	72	大野市教育振興基金設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	73	大野市立保育所設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	74	大野市児童館設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	75	大野市営住宅条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	76	大野市和泉総合福祉センター設置条例を廃止する条例案	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	77	市道路線の認定について	可決	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	78	平成29年度大野市歳入歳出決算認定について	継続審査	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	平成29年度大野市水道事業会計の決算認定について	継続審査	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
80	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
81	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情	3	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	趣旨採択	趣	趣	趣	/	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	
	4	地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書採択について	趣旨採択	趣	趣	趣	/	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	
陳情 <small>（継続分）</small>	2	名水百選「御清水」を守ろうに関する陳情	継続審査	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長（山崎利昭氏）は採決に加わらないので「/」で表示。

議案に賛成○、反対×。陳情の願意の趣旨又は一部に賛成「趣」。継続審査に賛成○、反対×

## ● 請願書・陳情書の提出方法

どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。請願書・陳情書ともに様式に特別の定めはありません。定例会初日の午後5時までに提出しますと、その定例会で審議することとなっています。

次の事項を記載して、持参の上、提出してください。

- ① 請願・陳情の趣旨（具体的に）
- ② 提出年月日、提出者の住所・氏名（押印必要）
- ③ 請願書の場合は、紹介議員の署名（1人でよい）

詳しくは、議会事務局へ問い合わせてください。（☎0779-64-4830）

# 常任委員会審査

## Q & A

### ▽産経建設

(永田委員長 堀田副委員長  
藤堂 松原、畑中)

#### おもてなしセールス事業について

**Q** どのような事業か。  
**A** 大手旅行代理店と大野市の共同企画による日帰りバスツアーで、三大朝市物産まつりに合わせて、関西、北陸、中京の各地から、千人から二千人規模のツアー客が大型バスで本市を訪れ、大鍋で煮た上庄里芋と新米のおにぎりの昼食を食べた後、三大朝市物産まつりや、越前大野城などを散策する。

また、昼食や朝市まつりで使えるクーポン券などが旅行会社のツアー代金に含まれていて、市内での消費につなげるとともに、昼食会場での大野の農林産物のPRや、七間商店街での地酒バーの開設などを市内事業者が

行い、市民の稼ぐ力に近づけていくものである。

**Q** 旅行代理店に対して、どのような働き掛けを行ったのか。

**A** ツーリストに向けた商談会に本市の職員が出向き、数回にわたってイベント等の内容についてお話しをさせていただき、今回の誘致につながった。

#### ◎委員からの主な意見

大勢の方が一度に本市を訪れてくださる、とても良い事業であるので、引き続き今回のような観光客の誘致に向けた取り組みを、さらに強化していただきたい。

#### 大野市道の駅「産直の会」について

**Q** 「産直の会」会員の募集状況は。

**A** 本年6月から農家組合長会議や各地区の公民館などでの説明会で、延べ約200人の参加があり、また9月1日から会

員募集をスタートしたところ、9月12日現在で39の個人、団体から加入の申し込みがあった。

**Q** 農林産物というものは、「産直の会」会員が、全員がそろって出荷できるとは限らず、天候や季節的なことも出荷に影響する。そういったことも踏まえた上で、どれくらいの会員数を目標としているのか。

**A** 400人くらいの会員数を目標とし、今後、一人でも多くの会員を確保できるように、説明会等で積極的に声掛けを行っていききたい。



大野市道の駅「産直の会」  
会員募集説明会

#### ◎委員からの主な意見

目標としている400人程度の会員数が集まらなければ、安定的に農林産物を販売できなくなる。懸念され、このことは道の駅の魅力を維持できなくなることによる道の駅利用者の減少につながる。これまで以上の積極的な会員募集に努めて、目標とする会員数を達成していただきたい。

### ▽民生環境

(高岡委員長、松田副委員長  
廣田、川端、砂子、榮)

#### 和泉地区の地域振興について

**Q** 和泉地区の穴馬スイートコーンの収穫量は。

**A** 今年は春先の天候の影響で生産量が減少した。

#### ◎委員からの主な意見

地域が元気になれば、移住希望者の掘り起こしにつながり、住民の福祉向上にも寄与する。

特産品の品質の保持、向上と、生産拡大に向け

ての実効性のある手法を検討し、和泉地区の振興に努められたい。

#### 公共下水道への加入促進について

**Q** 加入率を上げるための取り組みは。

**A** 本市の公共下水道事業は、他の自治体と比較すると後発の事業であるため、接続率が低い状況にある。今後も戸別訪問を含めた加入促進に、鋭意取り組んでいきたい。

#### ◎委員からの主な意見

・供用開始直後の時点で、多くの方に接続いただくことが重要だ。他の自治体の取り組み事例も参考に検討してはどうか。

・地下水は、公共下水道整備区域に居住している市街地の方には、貴重な財産であり、自らが利用している地下水を守る、きれいな水を下流域の方に使っていただくという意識をもってもらおうことが大切だ。

#### 特定健診について

**Q** 現在の受診状況は。

**A** 9月13日現在の受診者総数は1005人。受診率は、昨年度より1.6ポイント高い、17.5割である。

#### ◎委員からの主な意見

市民が生涯、健康で元気に暮らしていくために、特定健診の受診の大切さを、多くの市民に理解してもらうことが重要だ。

その役割は、専門的でない知識を持つ保健師にあり、市民の健康や病気についての悩みに直接、耳を傾けることが、特定健診の受診率の向上につながる。



#### 名水百選「御清水」を守るろうに関する陳情

**Q** 7月定例会以降の進捗(しんちよく)状況等は。  
**A** 公共下水道工事に関

## 総務文教

(梅林委員長、兼井副委員長  
野村、山崎、宮澤、島口)

係する五つの区の区長から話を聞いたところ「区民からも反対の声は聞いていない」とのことであったが、ある一区長からは「数名の方から、湧水が枯れるならば反対だ」という声も聞いている」とのことであった。

本陳情の賛同者である区長からは「御清水に影響があるようであれば、そのようなことのないようにしてほしい」との思いから、この陳情に賛同したものである」ということであった。

10月には、これまでの地質調査などの結果報告を基に、地域ごとの工事方法の説明や、工事の工程を想定した試掘調査の実施について、関係区長に説明の機会をいただく予定である。

### ◎委員からの主な意見

下水道工事が御清水周辺の水環境に及ぼす影響について、試掘調査の結果を見る必要があるとし、全会一致で継続審査とした。

### スクール・ソーシャル・ワーカー配置事業について

Q 問題を抱えた児童・生徒への対応や相談などを行うスクール・ソーシャル・ワーカーは、市内に何人配置されているのか。また大野市出身か。

A 現在1人配置されているが、本市出身ではない。

Q 賃金の時間単価が、大きく上がった理由は、

A 資格の有無により単価が変わり、社会福祉士の資格を持っている人を雇用したため、単価増となった。

### ◎委員からの主な意見

賃金単価の増額は理解できるが、配置日数の大幅な削減により、相談や支援を必要とする子どもたちや保護者への対応に支障が出るのが危惧される。県に対して適正な

配置日数を検討するよう要望されたい。

### 防災訓練について

◎委員からの主な意見

自然災害は、季節、昼夜を問わず、また複合して起こり得るので、単一のマニュアルに基づいた訓練を行っているだけでは、実際に災害が発生した場合、その全てに対応できるものではない。市民生活の安全・安心を確保するため、今後、さまざまな場面を想定した訓練の実施とともに、市民への防災意識のさらなる啓発に取り組んでいただきたい。

小中学校再編に係る先進視察について

Q 視察先の選定は、学校の規模や地域の実情を考慮するのか。

A 距離的に、ある程度範囲が決まってくるが、人口規模や再編の年度など本市の実情に近い所を考えている。

### ◎委員からの主な意見

学校再編は重要な課題であり、再編計画のより良い見直しにつながるよう、地域の方々との合意形成や再編後の課題などについて、十分、調査、研究されたい。

### 越前おおのブランド戦略について

Q おおのブランドの発信は、市民にあまり周知されていないのではないかと。

A 主に県外向けに発信しており、なかなか市民の目に届かない場合もあると思う。

### ◎委員からの主な意見

戦略の取り組みにより観光客が増加するなどの

効果が得られているが「期待とは少し違っていた」などの声があると聞き及んでいる。

誘客についての受け入れ体制が十分に整っていないければ、観光客のリピートなどにつながっていないので、受け入れ体制の整備について、今後十分検討いただきたい。

## 特別委員会 報告

### ▼中部縦貫自動車道等 幹線道路整備促進

(島口委員長、藤堂副委員長  
永田、川端、高岡、兼井、  
畑中、榮)

### 中部縦貫自動車道

大野・大野東区間では、約7割の用地を取得済みで、残る用地については地権者との交渉を鋭意進めているとのこと。

大野東・和泉区間では、大野油坂道路で最長となる、延長約5キロの(仮称)荒島第二トンネルに着手し、年度内には、和泉トンネルに着手する予

定とのこと。

和泉・油坂区間では、川合・下半原間で用地取得が完了し、残る上半原・東市布間においても、用地取得に向けた取り組みを進めているとのこと。工事については、石徹白川橋下部工事や天頭谷橋橋台工事、新長野トンネルの本格的な掘削に向けた工事が進められており、年度内には、川合トンネルと大谷トンネルに着手する予定とのこと。

### ◎委員からの主な意見

・工事車両の通行に関し、沿線地区住民に対する交通安全対策については、日常生活に不安を抱くことのないよう、いま一度、施工体制を再確認されたい。

・トンネル工事着手前に必要となる対策工事に時間を要しているため、トンネル本体工事に遅れが生じているとのことだが、仮に、中部縦貫自動車道の全体の工期が遅れることになれば、工事に必要な年間260億円もの予算にも影響が出る。平成



大野市総合防災訓練

34年度末までの全線開通を目指し、計画どおりの工程で進めていただきたい。

## 大野市重点道の駅

### 〔(仮称)結の故郷〕

工事資材等の高騰などによる建設事業費の増大に対処するため、雪室施設の中止と施設全体の配置を見直し、この変更を基に、今後実施設計を進め、工事に着手すること。そのため平成32年度中としていた開駅時期を、33年度の早い時期に変更することとしたこと。

回遊性を高める取り組みについては、本年度から、越前おおのの魅力ある地域資源を磨き上げ、それらを体感できる体験観光メニューを開発する事業者への支援に取り組んでいるとのこと。

### ◎委員からの主な意見

・回遊性を高める仕組みとして、重点道の駅に観光コンシェルジュを配置し、そこから、大野の観光情報や体験メニューを

発信したいとのことだが、本来の観光コンシェルジュの役割は、まちの中心から情報などを発信することにあるのではないかと。重点道の駅では、まず指定管理予定者自らが、収益を得て、自立できる

仕組みづくりを構築することが最優先である。そのため、実効性のある施策の検討が必要なのでは。

・指定管理料については、中部縦貫自動車道の全線開通後は、原則支払わないこととしていることを踏まえ、全線開通までに指定管理予定者自らが、自立できる収入源の確保

が必要だ。重点道の駅でのソフト事業については、集客力、収益性の観点から、さらに検討されたい。

### ▼人口減少、若者定住対策

(堀田委員長、宮澤副委員長、野村、廣田、松田、梅林、松原)

大野市総合戦略の四つの柱のうち、3番目の柱の「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」に関連する事業について説明を受けた。

### ◎委員からの主な意見

・婦人福祉協議会が行う結婚相談事業との連携では、婦人福祉協議会との婚活イベント等の共催回数について、平成31年の目標値2回に対して、昨年度は、1回の実績であった。人口千人に対する婚姻件数の割合である婚姻率は、目標値4・3に対して、昨年度は3・5となつたとのこと。

婚活支援は、成婚まで結び付けることが重要であり、成婚に至らない理由や課題などの情報を婦人福祉協議会と共有し、取り組んでいただきたい。

また、地元での結婚について、本人への働き掛けなど家族の果たす役割も重要と思われるので、家族への意識啓発についても、連携して取り組んでいただきたい。

・特定不妊治療費助成事業では、市の助成は、治療費から県の助成金額を差し引いた額の2分の1に相当する額を、当該年度に1回の治療につき、10万円を限度として年3回まで助成しているとの

こと。

県内では、不妊治療の助成において、1回当たりの限度額や回数を定めず、年間の限度額のみ定めている自治体もある。

不妊治療は、1回の経費がそれほど掛からずとも、回を重ねて懐妊に成功する場合や、1回当たりの治療費が非常に高額となる場合もある。先進地を事例に、効果的に利用者により使いやすい助成方法について、今後、検討いただきたい。



・放課後の児童の居場所づくりでは、昨年度、放課後児童クラブで延べ約2万4000人、放課後子ども教室は延べ約2万8000人の利用があった。

また夏休み中の午前8時から放課後児童クラブには、村部からの参加も含めて、延べ約300

0人の利用があったとのこと。

先般の台風21号においては、市内全ての小中学校で休業が余儀なくされ、子どもたちの居場所づくりのため、急きよ二つの児童館で、午前8時から特別に児童クラブを開設する措置が取られた。

午前8時前に出勤しなければならぬ保護者は多数おられるが、児童クラブの開く時間を待つて出勤しなければならぬ保護者の負担を軽減するために、災害などで特別に児童クラブを開設する場合には、その開設時間を早めることを検討いただきたい。

### 議員研修会を開催

9月20日に、手話通釈者の谷口敏子さんをはじめとする4人の方を講師にお迎えし「簡単な手話講座(福井しあわせ元気大会に向けて)」をテーマに、議員の研修会を開催しました。

研修の目的は、7月定

例会において、大野市手話言語条例が制定されたこと、また10月13日から

本市で開催される福井しあわせ元気大会聴覚障がい者のバレーボール大会に合わせ、議員自らが手話への理解を深めるために、開催したものです。

本番での応援や、本市に来訪くださる選手、スタッフ、ご家族等へのおもてなしにもつながるよう、研修会当日は、手話でのあいさつや自己紹介、応援の方法など、何度も繰り返し練習しました。

本市議会は、手話が身近な言語として、もっと多くの市民の方に使っていただけるよう、努力してまいります。



手話講座の様子

# 第4回大野市子ども議会を開催!

## 小学生の提案や質問に対し、市長が答弁

第4回目となる大野市子ども議会を8月20日に開催しました。市内10小学校から1人ずつの子ども議員が選出され、実施。正副議長、会議録署名議員、市憲章と教育理念の首唱者を決定し、実際の議会と同じ運営を体験してもらいました。

また、全ての子ども議員が、市の行政に対し、疑問に感じていることや市の将来などについて、大人顔負けの質問や提案を行い、市長が真剣に答弁を行いました。なお、市議会議長、副議長をはじめとする全議員がオブザーバーという立場で参加し、子ども議会の様子を見守りました。



議長 白崎 愛唯さん  
(上庄)



副議長 岡本 夏実さん  
(下庄)



松田 花さん  
(有終東)



千味 遥人さん  
(小山)



牧野 美南さん  
(有終南)



高田 秀洋さん  
(阪谷)



村松 吉郎さん  
(和泉)



北野 奉孝さん  
(有終西)



野岸 さくらさん  
(富田)



高村 このみさん  
(乾側)

子ども議員の質問内容は、学校生活や通学において日々感じていること、観光客を増やすための取り組み、福井しあわせ元気国体・元気大会に向けて大野市をPRする取り組み、名水をはじめとする大野市の豊かな自然を守る取り組み、人口減少対策への取り組み、新しくできる道の駅への期待感とともに整備すると良いと思うこと、災害時の避難勧告についての疑問点など、幅広いものでした。

最後に山崎議長が「大人には思い付かないような、小学生ならではの質問に、気を引き締められる思いがしました」「皆さんの質問からは、大野市や自分たちの地域を愛する気持ちがたくさん伝わってきました。この気持ちを忘れずに、将来もずっとこの結の故郷越前おおのに住み続けていただきたい」と講評を行いました。

なお、子ども議会の会議録は、大野市のホームページで公開しています。



## 編集後記

福井しあわせ元気国体・元気大会が無事に閉幕しました。

本県選手団は、男女総合成績(天皇杯)、女子総合成績(皇后杯)の両方で見事に優勝し、開催県として有終の美を飾ることができました。選手皆さんの活躍は、たくさんの方のしあわせを感じさせてくれましたし、元気を与えてくれました。

本市では、正式競技をはじめとする六つの競技種目が行われ、市民一人一人がおもてなしの心を持って来場者をお迎えいただき、皆さんに満足していただき、魅力あふれる大会になりました。また、われわれ市議会としても、大会が成功するように応援してまいりました。

大会の本県選手団の皆さまをはじめ、準備、運営等に携わってこられた全ての関係者の皆さまに對して、心から感謝を申し上げます。

(座長 永田正幸)

## 議会だより編集委員会

- 委員 永田 正幸  
野村 勝人  
梅林 厚子  
藤堂 勝義  
松原 啓治

※次回は、来年1月下旬の発行を予定しています。